



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラン：ナタンズ核の祭典での要人発言

(4月9日付現地報道)

1. アフマディネジャード大統領の発言

- (1) 本日(4月9日)は、原子力技術に関する国民的記念日であり、昨年同日、国民及び若手知識人の努力で、イランは核燃料の製造技術を獲得した。
- (2) イランは、この1年間で核燃料の製造を産業規模にまで至らせることができた。本日、自分はイラン国民の下僕として、イランが核燃料製造分野で産業規模の製造技術を持つ国の仲間入りを果たしたことを発表し、この偉大な成果をイランの最高指導者と国民の目の前で祝する。
- (3) イランは、定められた計画に基づき、2万メガワットの原子力発電、及び医療、農業、産業科学分野での原子力技術の活用に向けて前進して行く。
- (4) 我々は、この分野でイランと対話する意向のある全ての政府と手を携える。一方、今日の現実を公平に受け入れない政府には、イラン国民への反対、敵対行為、傲慢な態度を止め、イラン国民が覚醒と最高指導者の支援をもって、彼らに対峙し、自らの権利を防衛することを知らしめたい。
- (5) イランによる至高の道のりは後退不可能である。イラン国民は今日まで彼ら(注：西側)が定めた法規に基づき平和裡の道のりを進んできたし、今後もその道のりを進むことに関心がある。彼らは、イラン国民が彼らとの対応を見直すこととなるような行動をとるべきでない。イラン国民は実際にその能力を持っているし、法に反し、安保理など国際機関を悪用して傷つけたり、平和と安定を危険に陥れるような行動には抵抗する。
- (6) イラン国民は、自らの権利が正式に認められることを望む。自分は、これらの大国に対し、彼らにも利益のない利己主義や頑固さから手を引くよう勧告する。イラン国民は、問題解決の為の交渉に向けた合法的で公正なアプローチを歓迎する。

2. アーガーザーデ原子力庁長官の発言

- (1) 今日、我々はウラン濃縮計画が産業規模に進展したことを祝う為にここに集まった。
- (2) 国内の大学研究者、原子力庁専門家、知識人の努力により決定された本行動の目的は、核燃料サイクル技術の獲得、原発代替エネルギー源の獲得、原子力技術の学問的アプローチ、新世代の原子力研究者の育成、ミニマム・コストによるプロジェクトの実施などである。
- (3) 我々はナタンズの施設で3.5%から5%のウラン濃縮に成功し、遠心分離器の大量生産段階への進展及び(核燃料の)産業規模の製造を開始することにより、国家繁栄への新たな一歩を踏み出すことになる。
- (4) 生産物及び産業における最新方式の採用で、月によっては成長率が13%にも上がった世界的記録にもなり得るような設備設置における急速な作業速度の進展などが、我々のその他の活動成果である。